

現新4氏 立候補

立候補者 (右から届け出順・敬称略)

午前9時現在

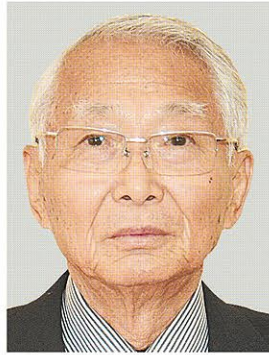
福島市長選告示

19日投開票



小林 香 58 市 長 無現

〔略歴〕中大法卒、英国サセックス大修士課程修了。環境再生保全機構石綿健康被害救済部長、環境省東北地方環境事務所長。福島市三河南町4の13
〔政見〕健康長寿のまちづくり。待機児童の解消。子育て環境の充実。メディアカルバレーの実現。歴史・文化を生かしたまちづくり。にぎわい交流拠点整備



法井 太閤 72 幼児園長 無新

〔略歴〕国際商科大(現東京国際大)商卒。エミール幼児園長。福島市御山字一本木79の6



木幡 浩 57 無 職 無新

〔略歴〕東大経済卒。復興庁福島復興局長、消防庁消防大学校長、岡山県副知事、北海道大公共政策大学院教授。福島市宮下町11の13
〔政見〕待機児童解消と多様な保育の充実。連携軸の交差を生かした活性化。公共施設の戦略的再編整備。地域内循環・地域連携の地域創生モデル構築



桜田 葉子 60 元 県 議 無新

〔略歴〕国立音大音楽科卒。県議会議会運営委員長、同総務委員長、自民党県連女性局長、福島学院大客員教授。福島市瀬上町字西北川原49の1
〔政見〕全国一子育てしやすい都市。国内外への情報発信強化。待機児童対策で安心して働けるまちづくり。若者の地元定着を支援する奨学金や通勤支援

任期満了に伴う福島市長選は12日、告示され、いずれも無所属で、再選を目指す現職の小林香氏(58)―1期、新人で幼児園長の法井太閤氏(72)、前復興庁福島復興局長の木幡浩氏(57)、元県議の桜田葉子氏(60)の4人が立候補を届け出た。各候補者は市内で第一声を放ち、19日の投票に向け、7日間の選挙戦に突入した。

同市長選で4人が立候補するのは2005(平成17)年以来。東日本震災、東京電力福島第1原発事故からの復興の総括に加え、待機児童解消などの子育て対策や将来的な人口減少への対応、来春の中核市移行後の将来像などを、どのように市民に示せるかが焦点となる。

小林氏は4年間の実績と市政継続、法井氏は独自の子育て支援対策、木幡氏は岡山県副知事など総務官僚の経験、桜田氏は地元選出県議として4期の実績をそれぞれ訴える。

市長選の届け出状況は午前9時現在。午後5時で締め切られる。